

ウツデイ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



非住宅木造建築物をひろげるにあたっての課題
建築事業者に対する調査結果から

林業樹種雑感
その11 カラマツ

ウッドエイジ

木材の研究と普及
第68巻・通巻786号

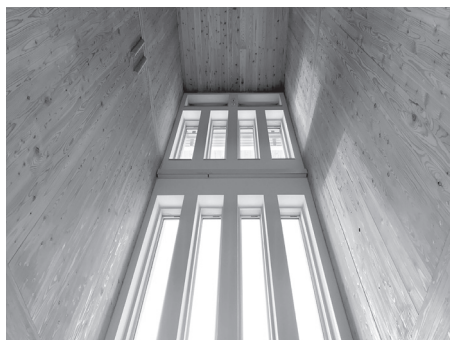
目次

非住宅木造建築物をひろげるにあたっての課題

建築事業者に対する調査結果から	1
林業樹種雑感 その11 カラマツ	5

※シラカンバ中小径木を利用するには	8
※日本きのこ学会第22回大会開催記	11
※Q&A先月の技術相談から 〔樹木由来の甘い香りについて〕	15
※行政の窓 〔平成29年特用林産統計について〕	17
※林産試ニュース	18

※：林産試だより2019年2月号からの転載
(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 承諾)



しりうち地域産業担い手センター 上磯郡知内町

しりうち地域産業担い手センターは、意匠性に配慮してCLTを用いる「しりうちモデル」コンセプトにより、平成30年に建設されました。

ファサード（正面意匠）は垂直に伸びる針葉樹林をモチーフとし、大きなキャノピー・雪庇ガード兼用の逆梁などを景観形成の要素として組み入れ、自然環境や立地に配慮した陰影感のある外観となっています。

階段室は燃えしろ設計によるCLT壁パネル現しの三層吹抜きの空間となっており、天井は道南杉の羽目板が用いられています。